

Daily Report (号外)

～1月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が2月4日に発表した1月の雇用統計において、非農業部門雇用者数は前月比+46.7万人と市場予想(同+12.5万人)を上回る結果となりました。また、同部門雇用者数の前月分はコロナ禍を踏まえた計測基準の変更を受け、+51.0万人(速報値+19.9万人)に上方修正されました。

業種別では、小売業が前月比+6.1万人(前月+4.0万人)、輸送・倉庫業が同+5.4万人(同+2.5万人)、娯楽・宿泊業は同+15.1万人(同+16.3万人)、教育・ヘルスケア業は同+2.9万人(同+5.0万人)と、全体的に安定した雇用増加が見られました。

失業率は4.0%と前月(3.9%)から小幅に悪化したものの、平均時給は前月比+0.7%と市場予想(+0.5%)を上回り、前年同月比は+5.7%と前月(同+4.9%)から加速しました。

(出所) Bloomberg

市場反応

4日の米国株式市場は、NYダウ平均株価が下落した一方、S&P500指数やナスダック総合指数は上昇しました。

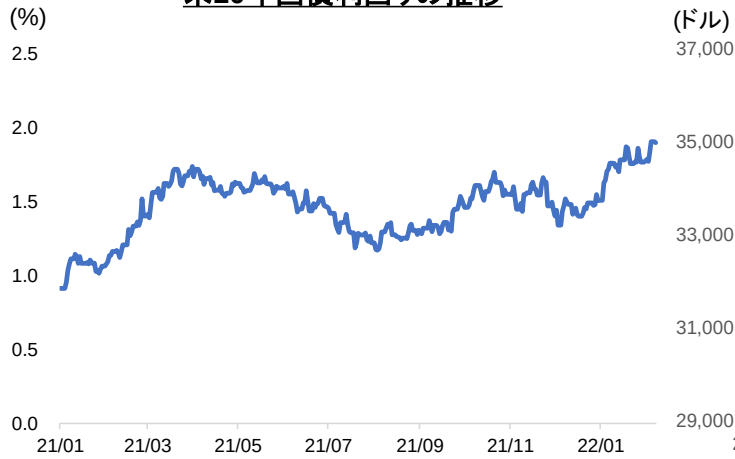
米国株式市場は、雇用統計の結果を受け米FRBが金融政策の正常化を早期に進めるとの見方が強まり、一時は主要3指数とも揃って下落したものの、午後にかけてハイテク株への見直し買いの動きが強まり、NYダウ平均株価は前日比▲0.06%となった一方、S&P500指数は同+0.52%、ナスダック総合指数は同+1.58%となりました。

米国債券市場は、FRBの利上げ早期化への警戒感から売りが優勢となり、10年国債利回りは約2年ぶりの高水準となる前日比+0.08%の1.91%程度で引けました。

米ドル/円は、雇用統計の結果から労働市場の引き締めりが意識され、円売り・ドル買いが先行したことから、前日比30銭程度円安ドル高の115.26円/ドルで取引を終えました。

原油先物市場は、雇用統計の結果に加え、ウクライナ情勢を巡る警戒感や、米国の寒波の影響から上昇し、WTI原油先物3月限は前日比+2.26%の1バレル=92.31ドルとなりました。

米10年国債利回りの推移



NYダウの推移



(期間) 2021/1/1～2022/2/7 (出所) Bloomberg

評価・今後の見通し

1月の雇用統計は雇用者数と平均時給が予想を上回る伸びを示し、足元のインフレ懸念を強める結果となったことから、FRBがインフレ率の抑制に向けて一段と積極的な姿勢で臨むとの懸念が強まる内容でした。

今回の結果を受けて、市場では3月FOMCでの利上げが確実視されているほか、3月の利上げ幅が0.5%となることや2022年の利上げ回数が4回ではなく5回となることを想定するなど、金融引き締め姿勢が一段と強まるとの見方が広がっています。過度な金融引き締めは景気減速を招く懸念もあり、FRBの金融政策の姿勢には当面注視が必要と考えられます。

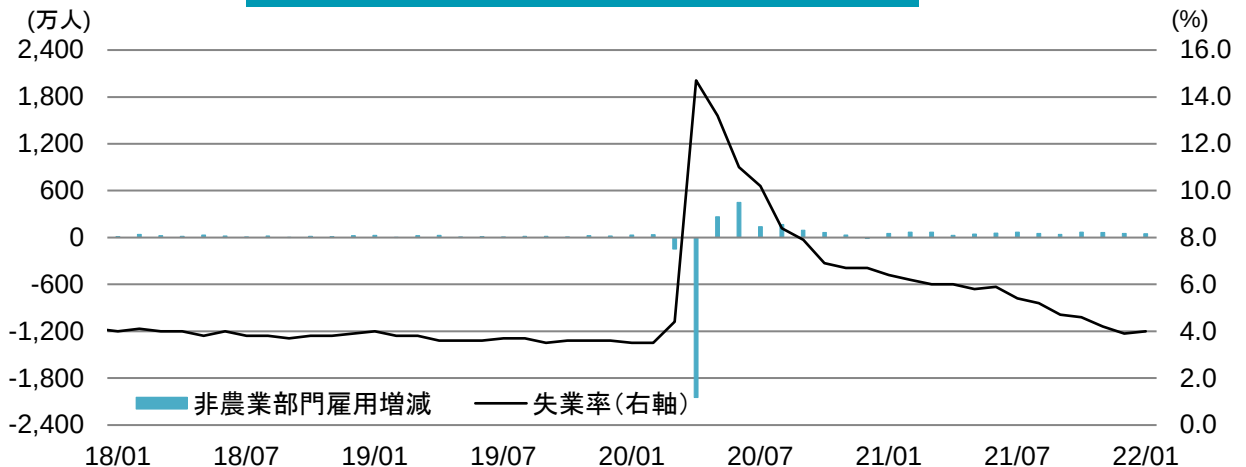
目先は2月10日に発表される米消費者物価指数(CPI)に注目が集まると考えます。FRBは景気減速への懸念も踏まえて市場との対話を続けていくと予想しますが、3月のFOMCで金融引き締めに対する姿勢が明らかになるまで、株式市場の値動きは当面荒い展開が続くと想定します。

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所: 米国労働省

	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1
非農業部門	51.7	42.4	67.7	64.7	51.0	46.7
鉱工業部門	4.8	5.4	8.3	9.9	6.2	0.4
建設業	0.2	3.0	2.8	4.7	2.6	-0.5
製造業	4.1	2.2	5.3	4.8	3.2	1.3
資源・鉱業	0.5	0.2	0.2	0.4	0.4	-0.4
サービス部門	44.9	35.5	61.1	52.8	44.1	44.0
卸売業	0.5	0.5	1.2	1.5	2.0	1.6
小売業	3.7	5.9	4.3	2.0	4.0	6.1
輸送・倉庫業	3.2	3.6	5.1	3.7	2.5	5.4
情報	2.5	0.8	1.2	1.8	1.2	1.8
金融	0.9	1.3	2.3	3.2	1.7	0.9
専門・ビジネスサービス業	8.3	7.4	23.6	11.1	8.8	8.6
人材派遣業	0.6	0.8	15.3	1.1	2.9	2.6
教育・ヘルスケア業	2.9	0.9	6.8	6.9	5.0	2.9
娯楽・接客業	20.2	13.4	14.1	19.1	16.3	15.1
その他	2.1	0.9	-12.8	2.4	-0.3	-1.1
政府部門	2.0	1.5	-1.7	2.0	0.7	2.3
失業率(%)	5.2	4.7	4.6	4.2	3.9	4.0
平均時給(前年比、%)	4.3	4.8	5.4	5.3	4.9	5.7

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間) 2018年1月～2022年1月 (出所) Bloomberg